

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1077	(H.24)No.	1077
-----------	------	-----------	------

事務事業名		母子保健相談指導事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		健康支援室		西寫知子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	昭和 40 年度 ~ 平成 年度				

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	1	健康づくり
	小施策	2	保健予防の充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	251501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	母子保健事業	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	母子保健事業費	母子保健相談指導事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>母子健康手帳発行教室:教室の実施により、妊婦の状況を把握するとともに妊娠期間中の健康管理の重要性や出産、育児に関する情報を提供し、不安の解消を図り、安全で快適な妊娠出産を支援する。 離乳食教室:子どもの成長に合わせ、離乳食を楽しく進めていけるよう教室を通じて支援する。 乳幼児健康相談:育児、発達、健康、離乳食、歯科等についての相談により乳幼児の健康な育ちを支援する。 2歳児健康相談:1歳6か月児健診等で、発達や発育等を継続的に観察支援したほうが良いと思われる幼児に対して、発育・発達の確認及び相談を行う。こあらっこ教室・きりんさん教室:育てにくさを感じている母親に健やかな母子関係が図れるよう支援するとともに、経過観察が必要な児の状況を確認し、遊びの指導・支援を行います。 よい歯のコンクール:むし歯のない母と子を審査、表彰し、むし歯予防を推進する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な妊娠、出産支援。 子どもの健やかな育ちと親の育児支援。 発達障害等の継続支援と虐待予防。 むし歯予防

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	心理判定員等報償費 講師料545,000 旅費46,080 消耗品費95,900 印刷製本費259,821 備品購入費82,000 負担金106,069 計1,134,870 母子健康手帳発行教室48回 受講者375人 離乳食教室164人 乳幼児健康相談1,429人 2歳児健康相談186人 こあらっこきりんさん教室319人 よい歯のコンクール10組		心理判定員等報償費440,000 消耗品費29,000 負担金87,000		
直接事業費	1,135千円	556千円	585千円	585千円	585千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	713			
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0)	422	585	585	585
人工数	職員	1.50人	1.50人		
	臨時職員等	0.50人	0.50人		
概算人件費	(0千円)	11,800千円	11,800千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円)	12,935千円	12,356千円	585千円	585千円

現在の実施手法(複数選択可)
市が直接実施
業務委託(全部・一部)により実施
指定管理
補助金・交付金
その他 ()

平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
心理判定員等報償費450,000 旅費12,000 消耗品費39,000 負担金84,000	心理判定員等報償費450,000 旅費12,000 消耗品費39,000 負担金84,000	心理判定員等報償費450,000 旅費12,000 消耗品費39,000 負担金84,000

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	-	-	-	-	85.0
	実績		84.7	91.1	97.0	96.5	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
健康支援室の保健師、管理栄養士、歯科衛生士が直接実施している事業。工夫を凝らしながら事業の質の向上を図っている。	今後も専門職種の技術を生かしたサービスの向上を図りたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
安心子ども基金妊娠出産前支援事業費補助金(10/10)の内示等が遅れてくるので、年度途中から開始の事業もある。	< 考査委員会 > 自発的な受診を促す工夫、受診率向上の具体的な対策に引き続き努めてほしい(啓発・特定検診・特定保健指導等との同時実施、会場の変更など)

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
現在の手法が妥当であり、現行通り行う。

特記事項

--